

国語科学習指導案

単元名：

「やまなし」

(全○時間扱い中 第○時)

授業日時 令和3年11月5日(金)第2校時

授業学級 6年1組

授業会場 6年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立てとねらい)

やまなし本文中の「言いました」「たずねました」の使い方に興味を持った子供たちが、辞書とほかの児童の「言いました」「たずねました」の違いについて比べる活動を通じて、周りの人の考え方に触れ、作者が言葉を変えている理由に感じ、カニ兄弟の関係性、クラムボンとは何なのかについてやまなしを読み深めることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 他の人の気づきを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・たしかに慈人君の言う通りかも ・そこはたしかに「言いました」じゃなくて「たずねました」でもいけそう ・言い換えると違和感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・横須さんの「言いました」が前にかかっている法則について改めて紹介する。否定はしない。 ・次に面白い気づきがあった、よく発見したとして慈人君と島田さんの気づきを発表してもらい「たずねましたのはず」というところをピックアップし児童に「確かに」と感じてもらったうえで全員の共通認識として「ではなぜこの部分でたずねましたではなく言いましたを使っているのだろう」問う。 ・電子黒板に板書&前時の児童の気づき提示 	10
	【学習問題】なんで兄のカニは弟のカニに聞いているのに「言いました」と書かれているのか？			
	【学習課題】本文中の「言いました」「たずねました」が使われているところを比較しどうして兄のカニが「言いました」を弟のカニに聞いている場面でも使っているのだろうか考えてみる。			

展開	2. 近くの人と言葉の違いについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・え、なんでだろう ・なんだったら言いましたは話しましたにしちゃだめなのかな ・弟のカニが兄に聞いているときはたずねましたで兄のカニが弟に言っているときに言いましたにしているってことだよな？ ・こっちは相手に伝えようとして返答を待っているからたずねるで、こっちはただの事実・出来事だから言いましたの表現なんじゃない？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導で巡っているときに興味深い内容について考えている児童を5人～選んでおく。 ・展開内の2と3については様子を見てほかの人の気づきを発表するのを早めに取り、それを受けて再度考える時間を作るといったことも視野に入れて動く ・周りながら根拠をもって理由を見つけている児童を特に見る。 	17
	3. 気づいたことを発表	<ul style="list-style-type: none"> ・カニの兄は弟に返答を求めていたわけではないから言いましたの言葉が使われているのだと思った ・クラムボンが死んだ(殺された)内容について兄はそこまで興味がなかったからたずねていないのかもしれないと思いました ・クラムボンのところが言いましたってことは兄はクラムボンについて弟ほど興味がないのかも ・クラムボンは仮想のもの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が発表した内容を板書していく。 ・児童の発言を受け板書していくときに児童の発言にどうしてそう思ったのかも聞いていく。 ・兄と弟の関係性について言っているものをいい気づきとしてわかりやすく取り上げる。 	15
終末	4. わかったこと、気になったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・カニの兄弟に思ったより差があると思った ・兄が大雑把な性格だと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が感想を記入している途中で黒板を見つつ改めて少し授業内でも気になったこと気づいたことを声に出す。 	3

【評価(対象)】言葉の違いに触れ、考える活動を通してやまなしを読み深めることができたか。(国語日記)